

2026 年 9 月 24 日
技術研究組合 国際廃炉研究開発機構

技術研究組合 国際廃炉研究開発機構の解散について

当機構は、2013 年 8 月 1 日に、原子力発電所の廃炉に関する試験研究、組合員の技術水準の向上および実用化を図ることを目的に、技術研究組合法に基づき、経済産業大臣の認可をいただいて設立しました。

これまで、廃炉技術の基盤の強化を視野に、喫緊課題である福島第一原子力発電所の廃炉に向けた技術の研究開発に全力を尽くすとともに、廃炉に関する国内外関係機関との協力、廃炉の研究開発に関する人材育成について進めてまいりました。

未完了のプロジェクトがあったことから、2023 年 4 月 13 日には、当初定款に定めていた当機構の存続期間を削除する変更認可をいただき、継続中の研究開発プロジェクトの完了に専念してきました。

そして、最後となりました 2 号機原子炉格納容器内部詳細調査プロジェクトについても、日本原子力研究開発機構櫛葉遠隔技術開発センターにおいて研究開発を完了し、2026 年 4 月 7 日に装置を福島第一原子力発電所へ搬送すると共に、櫛葉遠隔技術開発センターに設置した現場を模擬したモックアップ体の撤収等を行ってきました。

ここに当機構としての目的を果たしたことから、本日開催した臨時総会において、解散について決議をし、当機構は 9 月 30 日に解散することとなりましたので、お知らせします。

これまで、当機構への多大なご支援やご協力をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

以 上